

創刊号によせる

鹿児島大学長 蟹江松雄

鹿児島大学に新しい紀要が誕生した。

このことは本学の研究活動がそれだけ活発になったことを意味しており、誠に喜びにたえない。

この紀要の誕生にはもう一つの意義があると思う。本学において刊行されている今迄の紀要や学術報告は、それぞれの学部において刊行されているものであり、各学部が標榜する専門領域の研究を発表する場であったが、この新しい紀要は、地域研究という範疇とはいえ、学部の学問領域をこえた学際研究や、学部間にまたがる総合研究に報告の場を提供するもので、本学にとっては、全く新しい意味をもった紀要といえる。

このような新しい実行に踏みきった南総研センターのエネルギーに心からの声援を送り同時に今後その内容充実に精進されるよう願うものである。